

栄小研究部通信

一人一実践:道徳科【2の1 森田先生】～振り返り～

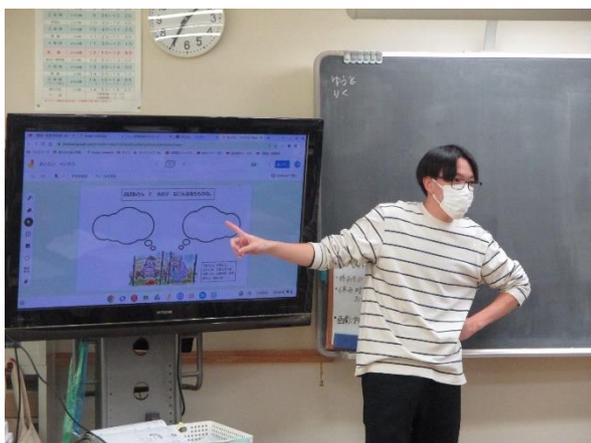
1 授業参観シートより先生たちの声「1. 評価基準の設定について」

- ・終末の場面で、一人一人の子どもが、みんなが使うものなどをどのように大切にしているかを書いていたので良かったと思う。
- ・学校や身の回りに目を向けながら、教材文をもとに関わりを大切にしていた良かった。
- ・「公共物とは何か」を授業のはじめに確認していたので、何を学習するのか2年生にも伝わりやすいので良かった。



2 授業参観シートより「2. 思考力・判断力・表現力を育むICTの活用について」

- ・Jamboard上で、おばあさんや女の子の気持ちを考える際に、挿絵や吹き出しがあったので考えやすかったと思う。
- ・挿絵、吹き出しなど低学年にも取り組みやすいように工夫されていた。
- ・Jamboardを使って、心の声とその後どうしたら良いかについて2つのことをよく考えながらまとめている様子が見られ、時間を余す子などいなかった。



- ・絵文字のイメージに言葉が引っ張られてしまうことがあるので、絵文字を使うことに関するルールを設けると良いと思う。
- ・2年生であんなにタブレットを使えることがすごい！
- ・低学年だとタブレットを使うことに喜びを感じている子どもおり、学びに集中できるような環境を作ることも大切だと感じた。
- ・手書き入力、絵文字、アプリの開き方、使い方のルールなど、子どもたちに定着していて感心した。
- ・森田先生のアプリ機能の使い方が効果的だった。

3 授業参観シートより「3. 振り返りでアウトプットする方法の工夫について」



- 振り返りを行うことにより、これまでの自分の行動を振り返ることができたので良かった。
- Jamboard を個人思考と共有で使い分ける点は、手段として初めて見たので大変勉強になった。他教科で実践してみたいと思った。
- タブレットだけではなく、ノートにまとめさせているところも良かった。

4 授業参観シートより先生たちの声「4. その他」

- おばあさんなどの気持ちを考える際に、Jamboard の右下に例示があったので、子どもたちが考える際の参考になっていた。
- 多様な価値観を認めつつ、主題へと導いていく道徳の難しさにチャレンジし、否定的な考えの対処など、自分も考えさせられる実践を公開していただきありがとうございました。



- 発問の「気持ち」と「どうしたら良かったか」の区別が難しかったように感じた。
- よく集中して学習に取り組むことのできるクラスだと思ったので、交流のときはタブレットを触らないなどのルールがあると、より考えが深まると思った。
- 授業の中で様々な意見が出ていたので、どうしてなのか子どもたちの考えが気になった。同じ行動だとしても理由は様々なので、その違いを聞いていくことも面白いと思った。



❖ 低学年のICT活用に加え、子どもたちから自由に出てくる多様な考えを受け入れながらも主題へと導いていく道徳科の授業づくり、大変勉強になりました。森田先生、2度の学級閉鎖でなかなか予定通りに授業が進まずに大変な中、道徳科での貴重な授業公開をしていただきありがとうございました。

❖ 先生方も参観シートでの貴重なご意見ありがとうございました。先生たちからの授業を見る視点は研究部としても大変勉強になっております。